

# ゆう Can Change!

我孫子市市議会議員 水野ゆうきの



VOL. 4

2012年

ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/>

Facebook 水野友貴

Twitter @yuukitten

## 女性視点の政治活動 教育行政の信頼回復に向けて / 女性特有のがん未然防止策

### ■ 相次ぐ教育関係者の不祥事～再発防止への対策～

昨年の教育委員会職員による酒気帯び運転及び当て逃げと先の酒気帯び運転に引き続き、新たに我孫子市教育委員会職員の虚偽の休暇申請による懲戒処分1件及び我孫子市内公立学校職員の不祥事2件による懲戒処分、計3件が7月に議会に報告されました。

情報

#### ●議会への報告タイミング

一連の教育関係者による不祥事は6月議会中にすでに発覚していたにも関わらず議会への報告は7月25日。二元代表制、再発防止、連携という観点からも情報は議会に早めに出すよう要望。

現実

#### ●教育委員会の役割とは?

このような非常時に公の臨時教育委員会はなぜ開催されていないのか? 教育委員会そのものの活動、職責や役割というものが市民の中では見えにくい現実。

改善

#### ●これまでの教職員への指導・研修の問題点

保護者は学校・教職員を信頼して学校に行かせている。大津市いじめ問題はじめ、全国的に教育関係に係ることがマスコミで大きく報道され敏感になっているからこそ、むしろ我孫子は良い!と言われるくらい改善していただきたい。

窓口

#### ●セクシャルハラスメントの相談窓口

今回の不祥事については相談がなかったことから、過去に言い出せなかった、現在言い出せていない児童、生徒、教職員がいる可能性も。加害者に相談した事実が知られてしまうことなどへの不安や恐怖もあることから女性、弱者の立場から、相談しやすい環境づくり、配慮を心掛けてもらえるよう要望。

#### 【一連の不祥事に対する 教育委員会の対応】

教育委員会に相談のためのメール目安箱を設置。また我孫子市教育委員会不祥事防止検討委員会が設置され、具体的で身近な問題を扱った事例集を作成・まとめ、職員により心に染み入る研修に当たるとともに、教育長、教育委員による直接学校現場訪問、等が挙げられました。

### ■ 若年女性に警鐘:『子宮頸がん』は予防できる唯一のがん!

#### 子宮がん・子宮頸がん、乳がん検診の受診率

(我孫子市平成23年度実績)

子宮がん  
子宮頸がん

受診率 **19.2%**  
なんと20歳代は**5.7%!!**

対象者: 31,280人  
受診者: 6,017人

乳がん検診

受診率 **26.3%**

対象者: 28,496人  
受診者: 7,501人

#### 【子宮頸がんの特徴】

- 性交渉で感染する
- 20～30代に多い
- ワクチンで予防できる (最大約70%しか予防できず、残りの約30%は検診で補います。)
- 定期的な検診により初期段階で発見できれば子宮温存できる可能性が高い

#### ●当事者意識と知識、男性の理解も不可欠!!

子宮頸がんは性交渉で感染することがほとんどなため、ワクチンは早い段階で打っておくことが推奨されています。

まずは検診とともに正しい知識の周知と危機意識が重要で、若い世代に発症することから子宮頸がんに関しては受診者の中身を精査する必要があり、新規受診者、特に若い女性の受診率を向上させなければなりません。その為若い世代に焦点を当てた効果的なPR方法(SNS等)で、単に検診を訴えるのみならず知識の周知も一緒に広報してもらうよう要望。

#### ●検診手法もHPV-DNAと細胞診の併用検査を!

併用検査をすることで高精度な検診となり、その感度は100%で見逃しなし(※細胞診検査だけだと約70%)!市からは国の動向を見てという主旨の答弁でしたが、自治体として積極的に取り組んでもらいたいです。

#### 議会豆知識① 委員会とは??

我孫子市議会には教育福祉常任委員会、環境都市常任委員会、総務企画常任委員会の3つの常任委員会があり、全議員が必ずどれか一つの常任委員会に所属します。常任委員会は一般質問とは異なり時間制限がなく事前通告もありません。所管事項に関してより掘り下げた議論をすることができます。